



# 滋賀県平和祈念館 年報

第10号  
(令和3年度)



---

滋賀県平和祈念館 年報 第10号 (令和3年度)

発行日 令和4年(2022年)7月20日  
編集・発行 滋賀県平和祈念館  
〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地  
TEL 0749-46-0300 / FAX 0749-46-0350  
E-Mail : heiwa@pref.shiga.lg.jp  
印刷 モリワキ印刷

---

## はじめに

滋賀県平和祈念館は、平成 24 年 3 月、「語りつぐ 平和へのねがい」を指針として開館し、その後、県民のみなさまのご支援により順調に活動をひろげ、以来 10 年を経過しました。この間の本館の活動については、『滋賀県平和祈念館 年報』第 1 号を平成 25 年 12 月に刊行し、その後は各年度の活動について、それぞれ『年報』にまとめ、報告してきたところです。

本号では令和 3 年度の活動をまとめていますが、ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大（第 5 波）により、いくつかの支障をきたしました。8 月 27 日から 9 月 30 日までの間、臨時休館の措置をとらざるをえず、イベントも延期や中止となり、県民のみなさまのご期待にそえなかったこと、この場をかりて深くおわび申し上げます。また、3 月前半に予定しておりました運営会議等については、第 6 波のオミクロン株の感染が猛威を振るっており、ご参集いただいていたの会議の開催が困難な状況となり、書面開催といたしました。

さて、本館の運営にあたっては「モノと記憶の継承」、「自らできることのきっかけづくり」、「県民参加型の運営」という三つの基本方針のもとで、県民のさまざまな戦争体験を語りつぐ事業として、資料収集保存をはじめ、展示、普及啓発、平和学習支援、ボランティア活動支援などの諸事業を展開しています。

令和 3 年度の企画展示事業としては、前年度から引き続き公開した第 28 回「戦争が終わって ー海外からの復員と引揚げー」、6 月 26 日からは第 29 回企画展示「戦死者 8,843 名 フィリピン の 戦 場 I ー ル ソ ン 島 編 ー」、令和 4 年 1 月 12 日からは第 30 回企画展示「子どもたちが描いた戦争」を実施しました。

令和 3 年度の普及啓発事業では、子供向けの事業の『平和の学校あかり』は、全 5 回のうち 1 回中止となりましたが、4 回を実施し、『平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール』は、例年を大幅に上回る 566 点の応募があり、盛大に実施することができました。

一般向けの平和学習講座では、上杉和央氏の「軍港都市の今昔ー連続と断絶の視点からー」が中止になりましたが、『映画上映会』は、中止となった回を別の機会に上映するなど工夫をしながら開催いたしました。

本館では開館以来ボランティア活動もさかんで、現在の登録メンバーは 46 名で、11 のグループ活動があり、本館のさまざまな事業で協働がすすんでいます。

開館以来実施しております、戦争体験聞き取り調査や資料の収集などの事業は例年どおりすすめており、戦争体験者の映像記録化の事業も着実にすすめ、常時公開できる体制をととのえています。

これからも祈念館にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和 4 年（2022 年）7 月

滋賀県平和祈念館 館長 朝倉 敏夫

# 目 次

## I 事業概要

### 1 展示事業

- (1) 基本展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (2) 企画展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (3) 企画展示関連事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- (4) 特別企画展示（エントランスバナー）・・・・・・・・・・・・5
- (5) 地域交流室展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- (6) 収蔵展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- (7) 図書・映像コーナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- (8) 他館（市町）との連携展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- (9) その他の展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

### 2 資料収集保存事業

- (1) 戦争体験聞き取り調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- (2) 収蔵資料の整理・保存・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

### 3 普及啓発事業

- (1) 開館10周年記念事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- (2) 大人のための歴史教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- (3) 戦争体験を聞く会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- (4) フィールドワーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- (5) 平和を祈念する日事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- (6) 館長講座「平和塾・つなぎ人（びと）」・・・・・・・・・・・・16
- (7) 映画上映会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- (8) 平和の学校あかり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- (9) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール・・・・・・・・18

### 4 平和学習支援事業

- (1) 来館学習の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- (2) 滋賀県平和祈念館へいわの子事業・・・・・・・・・・・・・・・・22
- (3) 出前授業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
- (4) 地域等への平和学習支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
- (5) 資料の貸出による平和学習支援・・・・・・・・・・・・・・・・25
- (6) 戦争体験者証言映像の制作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

### 5 ボランティア活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

## II 資料

- 1 利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
- 2 広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
- 3 組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
- 4 決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
- 5 新型コロナウイルス感染症関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
- 6 施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
- 7 利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
- 8 関係規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40

## I 事業概要

### 1 展示事業

#### (1) 基本展示

基本展示は年間を通して見学できる常設の展示であり、滋賀県民と戦争の係わりや地域における戦争の影響など、かつて県民が経験した15年に渡る戦争全体を概観する内容となっている。

展示は滋賀県の地域ごとに戦争に関係した場所を紹介する「地域展示」と、収蔵資料や滋賀県民の戦争体験談を中心に、県民が体験した戦争の概要を伝える「滋賀県と戦争」の2つのコーナーで成り立っている。「地域展示」では、地域ごとの戦時中のデータ（当時の人口、戦没者数、軍事施設、主な軍需工場、空襲被害、集団学童疎開受入れ）を壁面パネル・柱パネル・床面の滋賀県航空写真で紹介した。

「滋賀県と戦争」では、県民の方々からの寄贈資料や体験談によって、戦争や戦場での体験と当時の県内の様子を紹介しており、コーナーの最後に現代の子どもたちの平和への願いを取り上げ、「平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール」の受賞作品を世界地図ボードで紹介している。令和3年度は出征のぼりを紹介するコーナーや空襲などに関する展示の展示替えを実施した。

また、企画展示室の映像スクリーンで、『戦争証言 2020』などの証言映像を常時上映した。



「地域展示」



「滋賀県と戦争」(出征のぼり)

#### (2) 企画展示

第29回企画展示『戦死者8,843名 フィリピンの戦場Ⅰ ールソン島編ー』

会期 令和3年(2021年)6月26日～12月19日

なお、この企画展示は会期中に新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が発令されたため、会期を当初の10月10日から12月19日まで延長した。

会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

## 趣旨

アジア・太平洋戦争の開戦から 80 年目にあたる令和 3 年度と令和 4 年度（第 31 回企画展示）の 2 回に分けて、15 年間の戦争での、滋賀県民戦没者 32,592 名の 3 割近くに及ぶ、8,843 名の戦死者を出したフィリピンでの戦争（最も多くの滋賀県出身者が犠牲となった戦場）をテーマとする企画展示を実施した。

今回の展示では、首都マニラが所在するルソン島での戦争を取り上げ、フィリピン全体の戦争経過とともに、ルソン島での戦争を関係者の体験談やモノ資料で紹介した。

## 概要

### 【フィリピン 戦死者 1%のプロフィール】

滋賀県にゆかりのあるフィリピンでの戦死者のうち、家族や親しい人たちから当館に情報（当館が実施した戦争体験聞き取り調査や資料寄贈など）が寄せられた約百人の戦死者のプロフィールを紹介し、関連するモノ資料を展示した。

モノ資料は、戦死者が記した遺書や戦地から家族への手紙、家族のもとに残された遺品などを紹介した。個々のプロフィールはフィリピンでの戦争経過の年表と連携させる形で、戦死年月日順に戦死した場所（島など）を色分けして紹介するとともに、家族や親しい人たちから見たその人柄や家族との別れの様子など、兵士である以前に一人の人間であったことを気づいてもらうことを意図した。

なお、タイトル『戦死者 1%のプロフィール』は当館に情報が寄せられた約百人の方々がフィリピンでの県民戦死者（8,843 名）の 1%ほどであることを示すものであるが、フィリピンでの戦争でいかに多くの人が亡くなったのかを物量的に体験してもらえる展示とした。

### 【フィリピンの戦場では】

フィリピンのルソン島で、戦争に兵士として参加した杉原正雄さんや竹内正二さんから 7 名の体験談を紹介した。昭和 16 年（1941 年）12 月の日本軍ルソン島侵攻から始まり戦火が収まることのなかった戦争について、フィリピンでの米軍降伏後の民兵との戦闘や米軍再上陸後の交戦から日本軍部隊の敗走、飢えや飢餓に苦しめられたジャングルでの逃避行など、兵士として体験した戦場の様子を知ってもらう内容とした。

また、従軍看護婦（日本赤十字社救護看護婦）としてフィリピンへ送られた奥村モト子さんの体験談を、看護婦への志望動機から、フィリピン派遣直後からマニラへの空襲、ジャングルへの移動から野戦病院、野戦病院解散後の逃避行、捕虜収容所での暮らし、体験談を話し続けた想いなど、連続する 8 枚の体験談パネルで紹介した。

### 【無言の帰郷 戦死のしらせ】

戦死者を弔う公的な葬儀（部隊葬・公葬（村葬））の様子とともに、帰らぬ人を待ち続けた家族が受け取った戦死公報や空の遺骨箱について紹介した。





第29回企画展示



### 第30回企画展示『子どもたちが描いた戦争』

会期 令和4年（2022年）1月12日～6月12日

会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

#### 趣旨

昭和6年（1931年）の満州事変に始まった長く続く戦争の中、多くの子どもたちは戦争のない平和な暮らしを知らなかった。子どもたちは、国民学校で戦争をすることの大切さや、国のために生命や身体を捧げることのすばらしさを学んだ。当時の子どもたちを取り巻く環境は学校だけでなく、遊びやおもちゃ、絵本などにも戦争が暗い影を落としていた。子どもたちが描いた絵画には、戦場で戦う兵士たちの姿や戦闘機、防空訓練の様子など、子どもたちを取りまく戦争の暗い影を見ることができる。絵に描かれた戦争のころの子どもたちの日常を、当時子どもだった方々の体験談やモノ資料と比較する形で紹介することによって、戦争の理不尽さや悲惨さを考えてもらうことを意図した。

#### 概要

##### 【戦争のころの子どもたち 遊びと学校】

子どもたちが学校などで描いた戦時色の強い絵とそれらが描かれた背景を当時の学習道具やおもちゃ、絵の道具などとともに紹介した。当時を象徴する授業として、学校での軍事訓練を取り上げ、訓練に使用された模擬手りゅう弾や木銃などの収蔵資料を紹介した。

### 【感謝する子どもたち 働く子どもたち】

子どもたちも戦争に協力することを強いられていたことを、戦争に身を捧げる人への感謝（出征見送り・遺骨箱の出迎え・慰問）と労働（勤労奉仕・勤労働員）を取り上げて紹介した。

「子どもたちの慰問」では、航空機による特攻で亡くなった吉田信太郎さんへの子どもたちからの慰問の手紙や絵画と、吉田さんが滋賀師範学校在学中に描いた絵や絵の道具を通して、あどけない子どもたちの慰問や感謝ですら、国民に戦争を強いる手段としていた当時の状況を紹介した。

### 【戦争にまき込まれた子どもたち 空襲と避難】

激しさを増す戦争のなか、子どもたちも戦争に巻き込まれていったことを、空襲と集団学童疎開に焦点を当てて紹介した。

「空襲」では、防空訓練の様子を描いた絵と実際の空襲の様子や機銃弾などのモノ資料を対比する形で紹介した。

「避難」（集団学童疎開）では、大阪市より疎開してきた楯野正雄さんの当時の絵日記と楯野さんたち疎開児童を受け入れた寺院の木津龍尊さんの体験談を関連させ、親元を離れて暮らす児童たちの想いや地域住民との交流を紹介した。

### 【戦争の終わりと子どもたち】

戦争によって家族を亡くした子どもたちの終戦後の想いを体験談で紹介した。

### 【戦争のころの子どもたちからの手紙】

展示の最後に戦争のころに子ども時代を過ごした武田倫江さんから現在の子どもたち、未来の子どもたちへの平和な時代が続くことへの願いや想いを込めたメッセージを紹介した。



第 30 回企画展示





### (3) 企画展示関連事業

令和3年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、実施を見合わせた。

### (4) 特別企画展示（エントランスバナー）

#### 第10回特別企画展示『未来を想って戦地におもむいた人』

会期 令和3年（2021年）4月1日～令和4年（2022年）3月27日

会場 滋賀県平和祈念館エントランス

#### 趣旨

戦争の時代、多くの県民が戦争によって、故郷を離れ、戦地や海外へおもむくことを強いられた。家族に別れを告げて、兵士や軍属（軍関係者）として戦地や戦場に向かった人々。滋賀県満洲報国農場の勤労奉仕隊員や満蒙開拓団の団員として「満洲国（中国東北部）」に送られた若者たち。兵士たちへの慰問のため、戦場へ向かった少女たち。多くの人々がさまざまな場所で戦争の現実に直面し、遠く離れた故郷を想っていた。そして、故郷の人びとは家族や恋人、親しい人たちが無事に帰って来ることを願っていた。

今回は、戦地や海外におもむいた県民やその帰りを願った人びとの写真をタペストリーとして、玄関ロビーに展示し、当時の人びとの想いを来館者に感じてもらうことを目指した。



エントランスバナー

### (5) 地域交流室展示

#### 「滋賀の戦跡 パネル展」

会期 令和3年（2021年）4月1日～12月19日

#### 事業概要

滋賀県内に残る戦跡（戦争遺跡）を紹介するパネル（21点）を展示した。また、当時の航空写真（ターポリン地図）を使用し、戦跡の位置を記したものを展示した。



展示の様子

### 「10年間ふるさとなみえ博物館 巡回展」

会期 (前期) 令和4年(2022年)1月12日～2月13日

(後期) 令和4年(2022年)3月10日～4月10日

#### 事業概要

平成23年(2011年)3月11日におきた東日本大震災から10年、震災とその後  
の東京電力福島第一原子力発電所事故により、故郷の福島県浪江町を離れた児童  
たちが取り組んだ郷土学習の学習成果のまとめや滋賀県の児童との交流の様子、  
また現在の防災学習について、前期と後期に分けて展示した。



展示の様子(前期)

展示の様子(後期)



## (6) 収蔵展示

収蔵展示では、県民の皆さまからの寄贈資料をもとに、毎回テーマを設けて展示するコーナーである。

### 「～19歳で戦死した大橋健二さんの遺品と共に～」

海軍航空兵の大橋健二さんは、昭和19年（1944年）10月14日、19歳で戦死した。県立八幡商業学校から海軍甲種飛行予科練習生を経て実戦部隊へ配備され、南方の米軍の艦船へと飛び立った大橋健二さん。その遺品を中心に、残された家族の想いと生涯をかけて兄・健二さんの戦死と平和を訴えた弟・大橋郁夫さんを紹介する。

展示期間：令和3年（2021年）3月3日～12月18日





## 「旧陸軍八日市飛行場 100 年」

民間の飛行場を前身とする八日市飛行場。大正 11 年（1922 年）1 月 11 日、陸軍八日市飛行場として誕生した。収蔵展示では、八日市飛行場とともに歩んだ周辺の方々の体験談やモノ資料を紹介した。

展示期間：令和 4 年（2022 年）1 月 12 日～12 月（予定）



## （7）図書・映像コーナー

来館者自らがより深く、滋賀県民の戦争体験や平和の尊さについて学ぶため、戦争に関する概説書・児童書、絵本、コミックなどの図書資料 27 冊を購入し、新型コロナウイルスの感染収束後の運用を目指した。（現在、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、図書・映像コーナーの運用は停止中）

## (8) 他館（市町）との連携展示

### ①守山市

タイトル：『平和のよろこび展』

主催：守山市

会期：令和3年（2021年）7月30日～8月6日

会場：守山市民ホール1階

入館者数：427人

内容：守山市からの協力依頼を受け、令和元年度に当館が企画した第26回企画展示『兵士を襲った感染症と飢餓』の一部を守山市民ホールで守山市主催の『平和のよろこび展』で展示した。なお、開催にあたっては守山市遺族会の協力を得た。

### ②NHK大津放送局

タイトル：『滋賀県平和祈念館出張展示 女性たちと戦争のころの大津』

主催：滋賀県平和祈念館・NHK大津放送局

会期：令和3年（2021年）7月19日～8月6日

会場：NHK大津放送局1階ギャラリー

内容：NHK大津放送局との共催事業として、戦争中から戦後、様々な苦難を強いられた女性たちの戦争体験のうち、NHK大津放送局周辺を舞台とした女性の戦争体験に関連した場所の当時の写真や関係資料を交えて紹介した。

関連行事：トークイベント 第1部「ナゼシガ!？」制作の舞台裏

第2部展示解説「女性たちと戦争のころの大津」

開催日：令和3年（2021年）7月19日

開催場所：NHK大津放送局1階ロビー



NHK大津放送局での展示の様子



## (9) その他の展示

### 県庁・県立図書館でのパネル展示

滋賀県平和祈念館で開催した企画展示の内容をコンパクトにまとめたパネル展示を県庁新館・本館の3階渡り廊下展示スペース・本館1階県民サロンや県立図書館談話室において開催した。

#### 1) パネル展示「兵士を襲った感染症と飢餓 ―インパール作戦とビルマー―」

会 期	会 場
令和3年5月19日～5月30日	県立図書館談話室

#### 2) パネル展示「戦争が終わって ―海外からの復員と引揚げ―」

会 期	会 場
令和3年6月28日～7月16日	県庁3階渡り廊下
令和3年7月17日～7月29日	県庁1階県民サロン

#### 3) パネル展示「戦争と教師たち」

会 期	会 場
令和3年7月28日～8月15日	県立図書館談話室

#### 4) パネル展示「戦死者8,843名 フィリピンの戦場I ―ルソン島編―」

会 期	会 場
令和3年12月22日～令和4年1月11日	県庁3階渡り廊下
令和4年1月12日～1月24日	県庁1階県民サロン

## 2 資料収集保存事業

### (1) 戦争体験聞き取り調査

滋賀県平和祈念館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦時中の体験について聞き取り調査を行っている。聞き取り調査は、開館以前の平成5年度から継続して実施しており、資料寄贈のみの場合も含めて2,300人以上の協力を得ている。

体験者の高齢化が進む中、戦闘体験などの第一線での体験談を聞き取る機会が少なくなり、国民学校や銃後と言われた国内での体験が増える傾向にある。

令和3年度の調査件数は103件あり、その内11件13名の方から直接的な体験談の聞き取りを行った。また、資料寄贈に付随した体験等の件数は19件であり、資料寄贈のみで体験談の付随しないものは58件であった。この他、資料調査に係るものが15件であった。

体験談の内容では、中等学校生徒の勤労働員や、軍需工場での勤労等銃後の体験が64%を占め、軍隊の体験が約36%であった。

#### 爆風で落ちた土壁の土ボコリのなかで－昭和20年7月24日の空襲－

吉田武司さん（東近江市）

三重県で暮らしていた吉田さん一家は、父親が陸軍へ入隊することとなったため、父親の実家がある御園村（現在の東近江市御園町）へ疎開した。昭和20年（1945年）7月24日、米軍12機の艦載機が陸軍八日市飛行場とその周辺を攻撃した。

僕の姉の話では、学校へ到着してすぐに空襲警報が鳴ったで、「近くのものゝ帰れ。家が遠い人は、防空壕に入れ」と言われて、家に帰ってきたそうや。そのうち八日市飛行場とその周辺への空襲が始まってね。家の周りに4ヶ所ほど爆弾が落ちたんやわ。

当時はね、隣の家との間に防空壕もあったんや。そこへ避難しようとしたけど間に合わなかった。でも、防空壕に入っていたら死んでたんやわ。そこに爆弾落ちて、破裂したんや。幼い妹を背負った母親と姉と兄貴と僕と4人が庭で布団かぶってたんやけど。僕が覚えているのは、空襲の爆風で壁が全部「バンバンバンバーン」と落ちてしもうて。昼間やけど、もうもうと（土ボコリが舞って）あの壁のくさい匂い。いまだに忘れへんのか。壁の落ちたにおい。

ほんで、モウモウとした中、路地から青年団の人が「誰かおるかー。どうもないのかー」と、助けに来てくれはった。近所の人たちが僕を引っ張り出してくれたのを覚えてんねん。痛うて、痛うて。何気なしに自分の横っ腹に触れた

ら手に血がついたんやわ。私はリヤカーに乗せられて、陸軍病院（現在の東近江総合医療センター）に行きました。

しかし、兄貴は手のつくしようになかったんや。病院で簡単な手当だけしてもらって、母親に抱かれながら亡くなったんや。姉は（頭部に）細かい破片が刺さって、耳の裏の眼の線やられてね。あっちこっち医者にいったけど、目が見えへんようになったんや。

僕も1年あまり医者に通ったけど、傷が痛うて、痛うて。それから治りかけたらウミが出て、痛かゆい、痛がゆい。子どもやから、かくわな。それで余計に血やウミが出て、痛うて、痛うてどうにもならなかった。

それと、空襲のあの爆風と壁の落ちた時のにおいがいまだに忘れられん。

## （2）収蔵資料の整理・保存

滋賀県平和祈念館では、県民の戦争体験にまつわる資料や戦時の滋賀県に関連する資料 50,000 点以上を所蔵し、その整理、保管を行っている。令和3年度は、新たに1,449 点の資料を収集した。収集した資料のほとんどは、県民の皆様が所蔵しておられたものである。

近年では、戦争体験者の子・孫世代の方々からのご寄贈が増えた。戦時中のことや寄贈品をよく知る方は減ってきているが、祖父母の戦争体験を語っていただく方もおられることから、ご家族で大切に継いできたことが寄贈品を通してわかる。

これまで県民の皆様が継いできた品々を後世に伝えていくために、適切な保存と収蔵に務める。また、戦争体験証言や館蔵資料のデジタルアーカイブ化を進め、展示や平和学習とともにインターネット上でも学習できる環境づくりを進めている。

～令和3年度受け入れ資料の事例～

### 海軍の食器

海軍の工作兵として重巡洋艦「利根」に乗船の際支給された食器。お茶や酒を飲むときに使用した湯飲み茶わんで、その他に一回り大きく深いご飯用、汁用及び、平皿のおかず用が支給された。



東近江市 井ノ口辰朗さん提供

### 入営祝いの幟

安土村（現在の近江八幡市安土）から贈られた入営祝いの幟である。昭和 15 年に中国に従軍されていた方のものである

近江八幡市 木俣 源一郎さん提供



### 3 普及啓発事業

#### (1) 開館10周年記念事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント規模を縮小した。

開催日時 令和4年(2022年)3月18日(金)～3月21日(月)

事業概要

ボランティアグループによる活動

演劇 : 3月21日(月)10時 『一膳の糧(こめ)』上演(参加人数15名)

戦時食 : 開館10周年記念品(ミニ大飡)を作製し、来館者に配布した。

映画上映会・再上映会

10月～2月に上映した作品の再上映会と12月に予定していた作品を上映した。

※平和学習講座は、講師の都合により中止となった。

#### (2) 大人のための歴史教室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

#### (3) 戦争体験を聞く会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

#### (4) フィールドワーク(布引丘陵・掩体壕群 学習講座と現地見学会)

開催日時・会場

学習講座

日時 : 令和3年(2021年)11月6日(土)13時30分～15時

会場 : 滋賀県平和祈念館

現地見学会

日時 : 令和3年(2021年)12月4日(土)9時30分～11時30分

会場 : 布引運動公園陸上競技場(布引グリーンスタジアム)近辺

事業概要

東近江市文化スポーツ部歴史文化振興課より嶋田直人氏を講師およびガイドに迎えて、学習講座と現地見学会を開催した。

参加者数 学習講座23名、現地見学会32名

#### (5) 平和を祈念する日事業

開催期間 令和3年(2021年)8月9日(月)～8月16日(月)

期間中来館者 約1,500名

事業概要

8月9日から8月16日の期間、「平和を祈念する日事業 平和祈念 week 戦後76年、未来へとつづく平和の燈」として、戦争体験を聞く会、ボランティアグループ



発表会、映画上映会を開催した。

8日間を通して、日替わりで当館作成の戦争証言映像（戦争証言 2014～2020）を1階基本展示横スクリーンにて上映した。2階研修室では映画上映会を行った。10日から13日は再上映会、14日と16日には新作映画をそれぞれ定員40名で上映した。

2年ぶりの開催となった戦争体験を聞く会は、市内在住の久野孝子さんから「戦時中の女学生」について、風船爆弾をつくった大阪での勤労働員の経験や女学生の日常生活に関するお話をしていただいた。また、ボランティアグループ発表会は演劇の他、10年目で初めての手紙等解読グループの発表があった。手紙から当時の様子がよくわかる工夫された発表であった。

終戦記念日にあたる15日には「パラリンピック聖火フェスティバル」が1階ロビーにて開催され、多くの来館者があった。そして12時から「戦没者追悼・平和祈念行事」が行われ、黙祷の後、滋賀県知事と館長より平和祈念メッセージが読み上げられた。また、期間中は子どもたちが平和への願いを込めて作った“あんどん”を1階ロビーに並べ、ライトアップした。

**平和を祈念する日事業のご案内** 滋賀県平和祈念館

**平和祈念week**

戦後76年  
未来へとつづく平和の燈

期間 8月9日月 ▶ 16日月

入館無料

場所 滋賀県平和祈念館  
滋賀県平和祈念館  
〒527-0167 東近江市下中野町3番地  
TEL: 0749-46-0300  
FAX: 0749-46-0350  
Mail: heiwa@pref.shiga.lg.jp

**期間中の催し案内** 参加無料

8月15日(日) 12:00頃～ 館長の平和メッセージ

**戦争体験を聞く会** 8月14日(土) 14:00～  
語り部：久野孝子さん  
「戦時中の女学生」  
大阪で勤労働員や空襲を経験。その後、遊覧に疎開されました。今まであまり話してこなかった戦争について語っていただきます。

**ボランティアグループ発表会** 8月9日(月) 10:00～ 紙芝居  
①お母ちゃん、お母ちゃん抱えに来て 2008年戦争から生き残った少女、30年経った今に生きて  
8月15日(日) 13:00～ 手紙等解読  
『これまでの活動のなかで...手紙を通して特攻隊員との交流と戦況の暮らしを紹介いたします。』  
8月16日(月) 10:00～ 演劇  
『滋賀からの進軍行、グループ間、心一つに精一杯演じていただきます。御期待下さい。』

**映画上映会** 4月から7月に上映した作品と新しい2作品を上映します。事前予約制です。

8月10日(火) 青葉学園物語 各日とも ① 10:00～ ② 14:00～ の2回上映 (各回とも定員40名)

8月11日(水) 麦秋

8月12日(木) ヒトラー暗殺 13分の誤算

8月13日(金) サクラ花 桜花最期の特攻

8月14日(土) 全台湾 1930年代台湾 記録映画撰集  
台湾は、日清戦争の敗戦に伴い清領が日本に割譲した1895年から第二次世界大戦後の1945年、中華民国臨時政府に置かれるまでの約50年間、日本の統治下にあった。当時の台湾の様子を伝える映像を収録。

8月16日(月) 銀の鈴 対馬丸より 今を生きている君たちへ  
太平洋戦争末期の沖縄、日本軍部の強行で、沖縄から対馬、空襲、宇重ら10万人の疎開が開始された。子どもたちの疎開は戦争が終結するまで、我が子を疎開させるが...

上記のイベントはすべて事前予約制です  
7月14日(水) 9:00より 予約受付開始



戦争体験を聞く会



パラリンピック聖火フェスティバル

## (6) 館長講座「平和塾・つなぎ人(びと)」

開催日時 毎月の第2土曜日の14時から15時30分まで

参加者数 延べ38名(年間10回)

### 事業概要

戦争体験者の方々の高齢化がすすむ中、つなぎ人(語り部)の育成は開館当初から当館の重要な役割と位置づけられており、昨年度からは新たに「平和塾・つなぎ人(びと)」として開始した。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、9月は中止した。

## (7) 映画上映会

今年度も毎月1回、13時30分から研修室で実施した。今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、定員を40名とした。

4月25日(日) 映画「青葉学園物語」 参加者38名

5月23日(日) 映画「麦秋」 参加者35名

6月27日(日) 映画「ヒトラー暗殺 13分の誤算」 参加者38名

7月25日(日) 映画「サクラ花 桜花最期の特攻」 参加者39名

8月22日(日) 映画「千羽づる」

※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

9月26日(日) 映画「サラの鍵」

※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

10月24日(日) 映画「ロープ 戦場の生命線」 参加者37名

11月28日(日) 映画「せんせい」 参加者36名

12月19日(日) 映画「頭上の敵機」

※天候不順(大雪)により中止

1月23日(日) 映画「ヒバクシャ」 参加者23名

2月27日(日) 映画「ウォーナーの謎のリスト」 参加者30名

3月20日(日) 映画「東京物語」 参加者28名

### 事業概要

昨年度の定員20名を40名に変更して事業を行った。再上映会は、8月と3月のイベント時に実施した。

## (8) 平和の学校あかり

### 開催日

令和3年(2021年)7月22日、7月31日、8月7日、8月9日、(8月21日中止)

会員数 37名

延べ参加者 104名

令和3年度 子ども向け体験型平和学習  
**平和の学校あかり**

子どもたちがさまざまな体験活動を通して、戦争の歴史を学び、平和の大切さを学び「平和の学校あかり」を実施します。

「平和の学校あかり」スケジュール

回	タイトル	開催日	開催時間	定員
第1回	平和学習講座【バックヤードツアー＆缶バッジづくり】	7月22日(水)	10:00～12:00	20名
第2回	戦跡めぐり in 大津	7月31日(土)	12:00～17:00	15名
第3回	教えて戦争体験Ⅰ【戦時の国民学校】	8月 7日(土)	14:00～15:30	20名
第4回	教えて戦争体験Ⅱ【戦時に見た戦争】	8月 9日(日)	14:00～16:30	20名
第5回	アニメで学ぶ戦争【ガラスの仮面】	8月21日(土)	10:00～12:00	20名

※各回15名程度が参加可能です。(第3回、第4回は定員超過可、定員超過の場合は、先着順で参加者を募集します。)

◎申込対象  
小学生～中学生3年生まで  
◎申込方法  
電話またはメールにて必要事項をご記入の上、申し込みは FAX でお申し込みください。(電話でも受け付けます。)  
※申し込みは、参加費がかかります。ただし、完全に参加費無料の講座も実施されています。



平和の学校あかり 申込用紙

滋賀県平和学習センター (FAX:0749-46-0300)

項目	内容	備考
第1回	平和学習講座【バックヤードツアー＆缶バッジづくり】	申込人数は、定員20名を超えてはなりません。申込人数が定員を超えた場合は、抽選となります。
第2回	戦跡めぐり in 大津	大津市内に戦跡があり、大津市立歴史博物館にて実施します。
第3回	教えて戦争体験Ⅰ【戦時の国民学校】	滋賀県立歴史博物館にて実施します。お申し込みの際は、お申し込みの順序を優先して実施します。
第4回	教えて戦争体験Ⅱ【戦時に見た戦争】	滋賀県立歴史博物館にて実施します。お申し込みの際は、お申し込みの順序を優先して実施します。
第5回	アニメで学ぶ戦争【ガラスの仮面】	滋賀県立歴史博物館にて実施します。お申し込みの際は、お申し込みの順序を優先して実施します。

申込の申し込みは、7月22日(水)の受付までです。定員は、お申し込みの順序を優先して実施します。お申し込みの際は、お申し込みの順序を優先して実施します。

参加者情報

氏名: \_\_\_\_\_ 学校: \_\_\_\_\_

住所: 滋賀県 \_\_\_\_\_

学年: \_\_\_\_\_

性別: \_\_\_\_\_

連絡先: \_\_\_\_\_

申込用紙のダウンロードはこちら

滋賀県立歴史博物館 (〒525-8501 大津市立歴史博物館)

電話: 0749-46-0300 (FAX: 0749-46-0300)

受付時間: 月～土曜日(祝日を除く) 9:00～17:00

※本館受付時間外は、お申し込みできません。ご了承ください。

※お申し込みの際は、お申し込みの順序を優先して実施します。

近隣施設での体験学習

マールステーション  
きつねの湯温泉(月夜温泉)  
お申し込み先: 0749-46-1112

道の駅  
まき野ふるさと館  
お申し込み先: 0749-46-8100

募集案内

事業概要

①「平和学習講座【ミニバックヤードツアー、缶バッジづくりなど】」(7月22日)

館内見学やバックヤードツアーをした後、ワークシートに取り組みながら館内の展示見学をした。最後にオリジナル缶バッジづくりも実施した。



講座の様子

②「戦跡めぐり in 大津」(7月31日)

大津市内に残る戦争の跡を見学した。大津市歴史博物館では、学芸員の方に青い目の人形やパンプキン爆弾(模擬原爆)についてお話をしていただいた。



講座の様子

③「教えて戦争体験Ⅰ【戦時の国民学校】」(8月7日)

戦時中、国民学校に通っておられた坪田末治郎さんに、当時のくらしや学校の様子についてお話ししていただいた。最後には、質疑応答の時間も設けた。





講座の様子

④「教えて戦争体験Ⅱ【長崎に落とされた原爆】」（8月9日）

実際に長崎で被爆された大村信代さんを講師に招き、ご自身の体験をお話ししていただいた。最後には、質疑応答の時間も設けた。



講座の様子

⑤「アニメで学ぶ戦争【ガラスのうさぎ】」（8月21日）

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて、開催を中止した。

(9) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール

展示期間

令和3年（2021年）10月30日（土）～ 令和4年（2022年）1月30日（日）

※表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

事業概要

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学5年生から中学生を対象に作品を募集したところ、県内小・中学校24校から566作品の応募があった（前年度は17校から462作品）。

入賞者

	学校名	学年	氏名
ピース賞（小学校）	守山市立物部小学校	第6学年	坂口 彩音
ピース賞（中学校）	東近江市立五個荘中学校	第2学年	福井 春翔
ハート賞（小学校）	彦根市立城南小学校	第5学年	木村 咲愛
ハート賞（中学校）	県立水口東中学校	第3学年	野村 未来
オリーブ賞（小学校）	守山市立物部小学校	第6学年	山田 麟
オリーブ賞（中学校）	長浜市立浅井中学校	第3学年	中西 郁乃

※各賞について

ピース賞・・・平和祈念館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進するうえで効果的な作品

ハート賞・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ賞・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能が優れている作品

ピース賞	作品	選定理由
------	----	------

(小学校)

物部小  
坂口 彩音



坂口さんの素直な思いから生まれた作品です。本館では学校での学びを補完するように戦争資料などに直接触れることで、先の大戦の人類的意味を伝えています。そうした平和祈念館の活動の基本的な意味を読み取った作品となっています。

(中学校)

五個荘中  
福井 春翔



滋賀県平和祈念館の理念は「語り継ぐ平和への願い」であり、本館の役割のもっとも中核的な機能が「語り継ぐ」ことです。多くの作品の中で、中学生のあり方としてもっとも純粋に表現した本作品は、十分にピース賞に値するものとなっています。



ハート賞	作品	選定理由
------	----	------

(小学校)

城南小  
木村 咲愛



ひとつの絵の中にさまざまな工夫やイメージ、思いが感じられました。一人ひとりの人物を細かく描いて表現し、「みんなで平和な地球を育てる」というイメージがよく伝わります。色のぬり方にもこだわり、絵具だけでなく、ペンや色鉛筆も効果的に使うことができています。

(中学校)

水口東中  
野村 未来



言葉やイメージがなくとも、表現したいことや伝えたいことが見る人に伝わる絵です。自分の思いを効果的に表すために計画を立て、表現方法に多くの工夫が見られました。絵の中心に引き込まれ、描いているものをひとつひとつじっくりと見てみたくなる作品です。

オリーブ賞	作品	選定理由
-------	----	------

(小学校)

物部小  
山田 麟



独特の色使いで、構図とともにたいへん強さのある一枚となっています。文字の色も背景の色や全体のバランスをひきしめるものが使われていて、たいへんよく考えて描かれた作品です。

(中学)

浅井中  
中西 郁乃



一枚の絵の中にストーリーがあり、一匹一匹のウサギの気持ちも伝わってきます。戦争のあったイメージの「荒地」と平和な「緑地」の描き方にも、タッチの差などの工夫があり、たいへん考えられた一枚になっています。

【佳作】

小学校	守山市立物部小学校	6年	田家	梨花
	彦根市立城南小学校	5年	伊吹	結愛
	守山市立物部小学校	6年	北川	颯大
中学校	滋賀県立水口東中学校	2年	森井	まいは
	東近江市立五個荘中学校	3年	脇	拓実
	東近江市立五個荘中学校	3年	山脇	万依



地域交流室での展示

## 4 平和学習支援事業

### (1) 来館学習の支援

#### 来館学校数（実績）

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学・短大
学校数	83校	70校	9校	3校	1校
児童・生徒数	4,668人	3,843人	763人	41人	21人

#### 主な学習方法

- ・ 展示見学  
学校が作成するワークシートや当館職員が作成した見学シートを用いて調べ学習
- ・ 館職員による平和学習
- ・ 戦争証言映像の視聴



来館学習の様子（東近江市内の小中学校）

### (2) 滋賀県平和祈念館へいわの子事業

平和学習プログラムの開発に取り組み、現地見学を設定したこれまでより深く平和について考える来館学習プログラム「滋賀県平和祈念館へいわの子事業」を実施して3年目を迎えた。また、この事業への児童等の参加を支援するため、「滋賀県平和祈念



館へいわの子事業補助金交付要綱」を定め、事業参加に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付した。

### へいわの子事業実施校（実績）

彦根市立鳥居本小学校 児童数 13 名・引率者数 2 名 事業参加者数 計 15 名

#### 主な方法

- ・館職員による平和学習講座



- ・展示見学（館職員が作成したワークシートを用いての調べ学習）



- ・戦争体験者証言映像の視聴
- ・戦跡見学



### （3）出前授業

#### 出前授業実施校（実績）

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学・短大
学校数	115 校	76 校	32 校	5 校	2 校
児童・生徒数	9,078 人	5,475 人	2,555 人	898 人	150 人



### 主な学習方法

- ・実物や写真・動画の提示
- ・体験談の提示
- ・資料観察



出前授業での様子（県内の小学校にて）

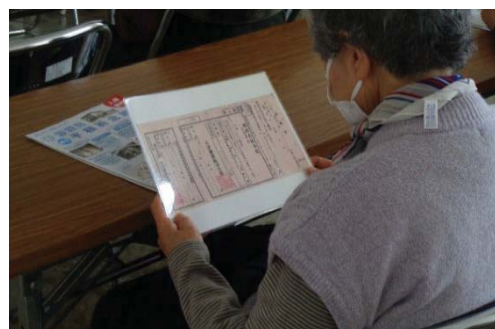
### （４）地域等への平和学習支援

戦後 76 年が経ち、戦争や平和に関する意識は若干低くなっているように感じる。しかし、2022 年に入った年度後半は、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、連日報道される映像などから 77 年前を考える機会が県民の中で増えてきている。コロナ禍での人権講座や平和学習は減少したが、地域の自治会での講座、教職員をはじめ各種団体などからの要望に応じた研修として、学校や地域への出前講演を実施した。新たな取組として、彦根市から依頼を受け市内の全公民館で人権講座を実施でき、好評を得た。なお、パネル等の貸し出しは 33 件であった。

	実施件数（人数）
来館学習	13（290 人）
出前講座	20（581 人）
教職員研修	8（196 人）

### 主な内容

- ・「滋賀への空襲」
- ・「滋賀にまつわる戦争の記録」
- ・「戦争と滋賀」
- ・地域に関する証言映像の視聴



出前講演での様子（地域の人権研修にて）

## (5) 資料の貸出による平和学習支援

滋賀県平和祈念館では、学校や地域への平和学習を支援するために、実際に手にとって触れるハンズオン資料やパネル、戦争体験者証言映像の貸出を行っている。

学校への貸出の傾向としては、9月～1月に、視聴覚資料の貸出が多い。地域への貸出としては、夏期が多く、パネルや「戦争体験者証言映像 2020」の貸出数が多かった。

(令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「戦争体験者証言映像 2021」の制作を中止した。)

### 資料貸出しの実績

- ①学校への貸出 21校 (小学校 19校、中学校 2校)
- ②地域への貸出 34件

### 貸出資料の種類

#### ①ハンズオン資料

千人針、臨時召集令状(複製)、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなご採り袋、雑誌「週刊少国民」(ラミネート版)、カルタ「戦ふ日本カルタ」(ラミネート版)、双六「大東亜共栄圏めぐり」(ラミネート版)

#### ②パネル

Aセット(16枚組) 3セット

Bセット(20枚組) 3セット

Cセット【滋賀で学ぶ戦争の記録】(16枚組) 3セット

写真・ポスター類(64枚)

#### ③小学校国語科読み物教材「一つの花」対応セット

#### ④視聴覚資料

- ・滋賀県民の戦争体験証言ビデオ「記憶の湖(うみ) 17本」
- ・小中学校向けアニメ画入りの戦争体験証言映像  
「大阪から来た女の子」「滋賀県満州報国農場の若者たち」
- ・2014、2015、2016、2017、2018、2019、2020年度制作の戦争体験者証言映像  
(DVD版・BD版)
- ・その他、戦争や平和に関するビデオ・DVD

## (6) 戦争体験者証言映像の制作

新型コロナウイルス感染症拡大により、今年度の戦争体験者証言映像制作は実施しなかった。

## 5 ボランティア活動支援事業

当館では、開館に先立って平成23年度より当館の活動に参加いただけるボランティアの募集を開始した。令和3年度末時点のボランティア登録者数は47名で、10代から80代の幅広い世代の方に登録いただいている。

具体的な活動内容としては、来館者案内活動、戦時食体験活動、手紙等解読活動、紙芝居や寸劇を上演する演劇活動、情報紙「平和の灯」を制作する活動、『写真週報』を読み解く活動など、各グループの活動が積極的に進められている。また、開館周年記念事業などの館事業への協力も継続して行われている。ただ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で館が臨時休館を行ったこともあり、各グループともに活動の休止や停止をせざるを得なかった。

ボランティアの様々な経験に基づいた知識や技術、さらにはその主体的な活動を通して、当館の活動の幅は確実に広がり、多様なものとなっている。今後ともボランティア活動を通して、利用者と積極的に交流していただき、さらには『利用者と館をつなぐかけ橋』の役割を担っていただくことを期待する。また、平和祈念館ではそのためのサポートを続けていく。

### ボランティア活動の紹介

来館者案内活動グループ	館内での来館者との交流や案内をします。
戦時食グループ	食べるものがなかった戦争末期から戦後の生活苦を感じ、「食」の大切さについて考えます。
演劇紙芝居グループ	平和や戦争をテーマにした紙芝居・人形劇・寸劇を創作し、上演する活動をします。
手紙等解読グループ	戦争中の手紙や日記などを、読みやすいように解読する作業をします。
聞き取りグループ	戦争体験者の方からお話を聞き、記録する活動をします。
情報紙制作活動グループ	情報紙「平和の灯」を制作します。
大凧づくりグループ	東近江大凧まつりに向けて、ミニ大凧（2畳）をつくり、平和への願いや当館の活動をPRします。
館イベント補助グループ	館が行うイベントの補助を行う活動をします。
語り部・語り継ぎ部グループ	自らの体験や戦争体験者の方々から聞いた話をもとに、戦争体験を語り継いでいく活動をします。
『写真週報』読み解きグループ	戦時中に発行されていた『写真週報』を読み解く活動をします。（今年度から活動開始）



公演の様子



情報紙「平和の灯」



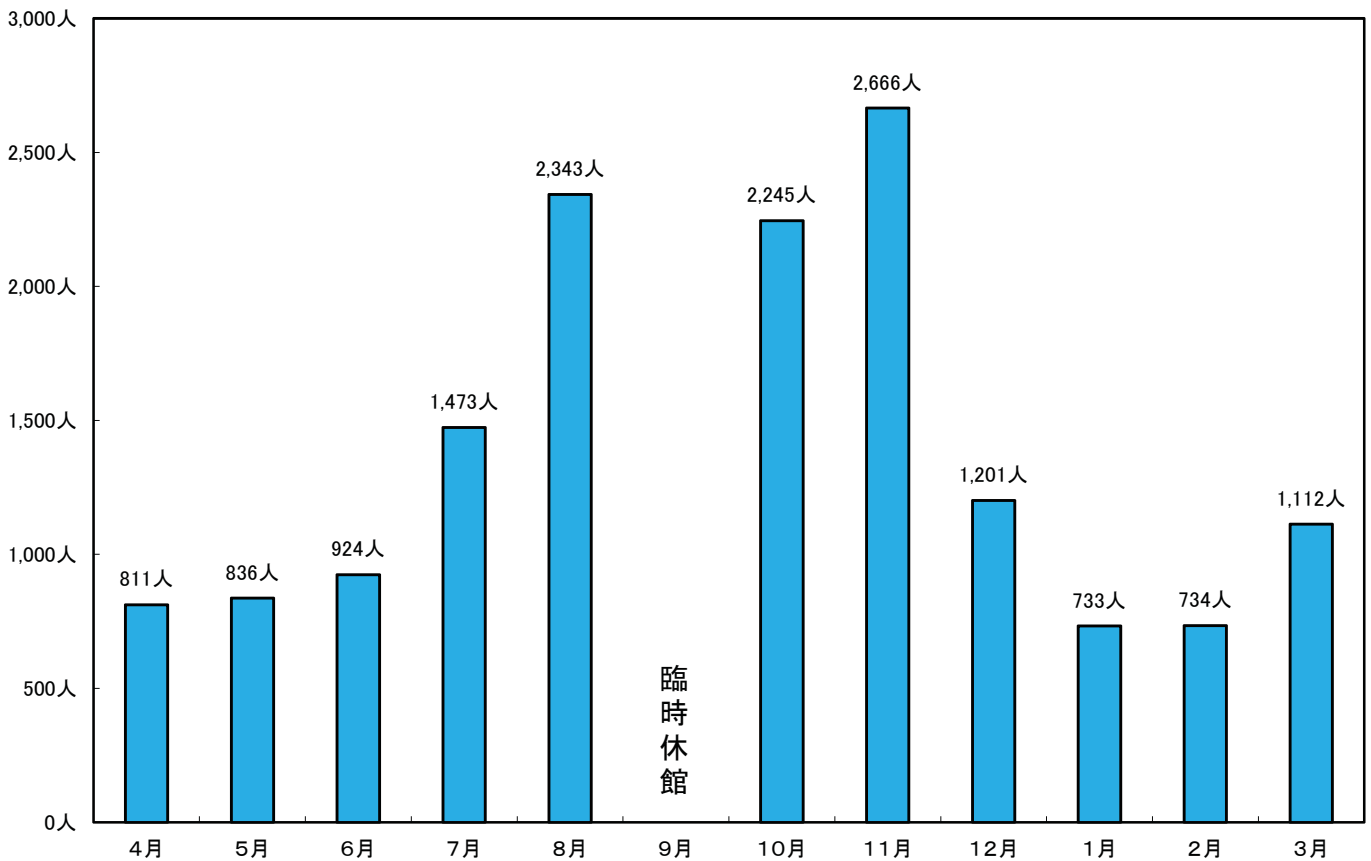
## Ⅱ 資料

### 1 利用状況

#### (1) 月別来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開館からの累計
開館日数	22日	24日	18日	23日	24日	0日	24日	21日	15日	15日	20日	23日	229日	2,575日
来館者数	811人	836人	924人	1,473人	2,343人	0人	2,245人	2,666人	1,201人	733人	734人	1,112人	15,078人	214,253人
1日あたりの平均来館者数	37人	35人	51人	64人	98人	-	94人	127人	80人	49人	37人	48人	66人	83人

※8月27日から9月30日までの間、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言発出のため臨時休館



## (2) 来館学校等一覧

(単位:人)

年	月	日	学校等名称	人数
令和3	4	22	県立水口東中学校	84
		5	26	三雲養護学校石部分教室
	6	2	滋賀県立農業大学校	21
		4	鳥居本小学校	15
		17	愛東北小学校・愛東南小学校	27
		17	本庄小学校	15
		17	八日市南小学校	93
		18	市原小学校・山上小学校	52
		30	びわ北小学校	25
	7	1	愛東中学校	18
		2	愛東中学校	19
		12	愛東中学校	39
	10	1	滋賀大学附属小学校	106
		4	竜王西小学校	61
		8	甲良東小学校	32
		16	藤尾小学校	29
		18	安倍小学校	73
		19	湖東第二小学校	21
		19	名柄小学校	17
		20	大淀希望ヶ丘小学校	50
		20	雲井小学校	21
		21	御園小学校	62
		21	香久山小学校	23
		21	志都美小学校	41
		22	五位堂小学校	77
		22	小野小学校	26
		25	葉山小学校	68
		26	堅田小学校	152
		27	五個荘小学校	122
	28	坂田小学校	77	
	28	耳成西小学校	104	
	29	布引小学校	45	
	11	2	葛川小学校	6
		4	長浜北星高等養護学校	11
		4	三輪小学校	35
		4	比叡平小学校	26
		5	箕作小学校	84
		5	仰木の里東小学校	112
		6	山東小学校	35
		11	マキノ西小学校	17
		11	小原小学校	15
		11	岡山小学校	111
		12	愛知中学校	140
		12	湖東第三小学校	24
		13	南比都佐小学校	19
		15	河南中学校	9
		16	逢坂小学校	75
17		双葉中学校	120	
18		真野小学校	75	
19	愛東北小学校・愛東南小学校	27		
19	坂本小学校	64		
20	北里小学校	58		
24	唐崎小学校	178		

年	月	日	学校等名称	人数	
令和3	11	25	笠縫小学校	103	
		25	仰木の里小学校	33	
		26	蒲生北小学校	68	
		26	今津北小学校	23	
		26	豊郷小学校	45	
		29	竜王小学校	70	
		30	能登川西小学校	28	
	12	1	北大路中学校	134	
		2	田上小学校	68	
		3	能登川南小学校	108	
		5	上牧第二小学校	51	
		8	蒲生東小学校	28	
		8	青柳小学校	41	
		9	八日市高等学校	8	
		9	大淀梅ヶ丘小学校	60	
		10	市原小学校・山上小学校	52	
		10	朽木東小学校	13	
		13	秦荘東小学校	36	
		16	下田小学校	51	
令和4	1	13	能登川北小学校	8	
		20	蒲生西小学校	56	
		21	湖東第一小学校	29	
		26	八日市西小学校	43	
		27	八日市北小学校	67	
		27	三雲小学校	90	
		2	2	玉緒小学校	35
	10		水戸小学校	61	
	22		立命館守山中学校	200	
	3	3	能登川東小学校	88	
		9	治田小学校	93	
	83校				4,668人

## (3) 出前授業実施学校等一覧

(単位:人)

年	月	日	学校・団体等の名前	人数
令和3	4	21	米原中学校	52
		28	日枝中学校	110
	5	13	朝宮小学校	5
		14	息長小学校	45
		19	南郷小学校	93
		19	滋賀大学教育学部	150
	6	15	県立守山中学校	80
		16	伊吹高等学校	157
		18	矢倉小学校	89
		24	日野中学校	176
		25	治田東小学校	79
	7	5	米原中学校	46
		7	草津第二小学校	77
		8	高島中学校	50
		15	大宝東小学校	66
	8	11	綾羽高等学校	65
		23	県立聾話学校小学部	15
	9	15	木戸小学校	48
		16	県立河瀬中学校	80
		21	晴嵐小学校	163
		24	五個荘小学校	122
		28	新旭南小学校	57
		29	竜王西小学校	61
	10	1	青山小学校	197
		1	甲賀中学校	90
		6	笠縫東小学校	110
		7	志津南小学校	120
		11	物部小学校	145
		13	立入が丘小学校・金勝コミュニティセンター	111
		14	桐原小学校	96
		15	老上小学校	120
		18	能登川南小学校クラブ	10
		20	信楽高等学校	66
		22	老上西小学校	151
		23	彦根市旭森学区	20
		25	曾爾中学校	8
	29	馬淵小学校	28	
	11	1	長等小学校	103
		2	小原小学校	12
		4	守山小学校	198
		5	愛知中学校	140
		5	河南中学校	9
		8	吉身小学校	117
		8	船岡中学校	56
		9	八幡小学校	128
		9	今津北小学校	20
		10	金田小学校	155
		12	山田小学校	65
		15	下坂本小学校	111
		16	中洲小学校	22
		17	日吉台小学校	15
		18	菩提寺北小学校	46
		18	八幡東中学校	210
19		びわこ学院大学(オンライン配信)	—	
22		湯田小学校	71	
22		瀬田東小学校	167	
26		武佐小学校	36	
29	城南小学校	107		
30	老蘇小学校	15		



年	月	日	学校・団体等の名前	人数
令和3	12	1	塩津小学校	8
		2	富士見小学校	71
		2	南笠東小学校	72
		6	膳所小学校	93
		7	沖島小学校	5
		7	常盤小学校	49
		7	大津中央小学校	39
		9	石部小学校	62
		14	大宝小学校	140
		14	甲西中学校	65
		15	甲西中学校	64
令和4	1	17	瀬田小学校	211
		20	安土中学校	130
		11	長浜小学校	153
		12	土山小学校	35
		13	守山養護学校	10
		17	中主小学校	133
		18	古保利小学校	14
		19	和邇小学校	86
		19	小松小学校	25
		21	竜王中学校	125
		24	平田小学校	50
25	希望ヶ丘小学校	84		
25	八幡中学校	110		
26	篠原小学校	31		
26	八幡中学校	100		
27	稲枝北小学校	15		
31	日栄小学校	38		
31	金城小学校	90		
令和4	2	1	三上小学校	35
		1	洪川小学校	84
		4	真野北小学校	33
		7	必佐小学校	52
		8	石部南小学校	36
		8	マキノ南小学校	18
		10	仰木小学校	14
		14	日野小学校	93
		14	船岡中学校	56
		17	葉山東小学校	75
		17	能登川中学校	100
		17	立命館守山中学校	193
	18	祇王小学校	77	
	18	能登川中学校	119	
	21	甲良中学校	30	
	22	甲良中学校	25	
	24	浅井小学校	28	
	令和4	3	2	八幡商業高等学校
8			新堂中学校	65
9			湖東中学校	64
10			湖東中学校	33
11			新堂中学校	60
11			滋賀県立聾話学校 中学部	13
14			東大津高等学校	360
17	秦荘中学校	64		
18	秦荘中学校	32		
115校				9,078人

## 2 広報活動

報道記録(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

年	月	日	内 容	報道機関
令和3	4	1	被爆桜 平和の思い咲く	朝日新聞
		4	東京パラ聖火の採火・出立会場に 県平和祈念館	滋賀報知新聞
		4	新年度を迎えて	滋賀報知新聞
		18	戦争が終わって 海外からの復員と引揚げ 県平和祈念館が企画展示	週刊滋賀民報
		23	終戦 復員と引き揚げの真実 県平和祈念館 資料や証言から紹介	中日新聞
		23	映画上映会「麦秋」	読書新聞
		30	抑留と引き揚げの苦難 県平和祈念館で企画展示	滋賀報知新聞
	5	2	不戦の願い、あなたへ 戦争体験者証言映像が完成	滋賀報知新聞
		9	2021年度子ども向け体験型平和学習「平和の学校あかり」を開校します	滋賀報知新聞
		14	県平和祈念館館長講座	読書新聞
		28	企画展「戦争が終わってー海外からの復員と引き揚げー」	読書新聞
	6	4	子ども向け平和学習 参加者募集 県平和祈念館	滋賀報知新聞
		6	滋賀県平和祈念館第29回企画展示 戦死者8,843名 フィリピンの戦場Ⅰ」	滋賀報知新聞
		10	戦跡巡りや体験談 講座参加者募る 県平和祈念館	読書新聞
		17	平成3年度子ども向け体験型平和学習「平和の学校あかり」を開校します	滋賀報知新聞
		18	企画展示「戦死者8,843名 フィリピンの戦場Ⅰ -ルソン島編-」	読書新聞
	7	6	飢えと病 悲劇のルソン島 平和祈念館「戦死者8,843名」企画展	毎日新聞
		8	軍服などに触れ 戦時を感じ取る 草津二小児童 地元と戦争の関わり学ぶ	中日新聞
		9	県平和祈念館 戦争の悲惨さ感じて 戦死者のパネルや遺品並ぶ	京都新聞
		11	弔辞	滋賀報知新聞
		16	フィリピンの戦場の悲惨さ 県平和祈念館が企画展示	滋賀報知新聞
		19	戦禍の女性 悲惨さ伝え 大津で県平和祈念館出張展示	京都新聞
		23	県平和祈念館の企画展「フィリピンの戦場」	滋賀報知新聞
		24	湖国のキーパーソン 県平和祈念館長 端 信行さん 戦争の記憶 後世に	京都新聞
	27	「平和のねがい」語り継ぐ 県平和祈念館	滋賀報知新聞	
	8	1	平和を祈念する日事業「平和祈念Week 戦後76年 未来へとつづく平和の燈(ともしび)」	滋賀報知新聞
		4	ルソン島 悲惨さ回顧 太平洋戦争 激戦地フィリピン	中日新聞
		10	演劇で恒久平和訴える 県平和祈念館ボランティアグループ	滋賀報知新聞
		10	比の戦場 歴史たどる 県平和祈念館	朝日新聞
		11	戦没者一人一人 思いはせて清掃 旧大津陸軍墓地	毎日新聞
12		天声人語 8月12日 木曜日	朝日新聞	
12		「証言」若者にも届けたい 県平和祈念館 ユーチューブで公開	毎日新聞	
14		空襲、飢え 忘れまい 大阪出身 中原さん 疎開した近江八幡で語り継ぐ	読書新聞	
15		「戦争証言」映像、ネットで公開 滋賀県平和祈念館	滋賀報知新聞	
17		平和の燈 東京へ届け 東近江でパラリンピック聖火フェス	京都新聞	
17		パラ採火 思い一つに 東近江	読書新聞	
17		平和の祈り パラ聖火へ	滋賀報知新聞	
18		【戦後76年】兵士と女学生の文通	カンテレ 報道ラ ンナー	

年	月	日	内 容	報道機関
	8	20	「私は悠久の大義に生きる」 平和祈念館ボランティアが調査	滋賀報知新聞
		22	県民8,843人が戦死した激戦地 企画展「フィリピンの戦場 I ルソン島編」	週刊滋賀民報
		23	シベリア抑留 白寿の初証言	読賣新聞
		23	ルソン島で戦った兵士たち 平和祈念館で企画展示	おうみ通信
		29	”もう二度と・・・” 県平和祈念館・平和の”あんどん”	週刊滋賀民報
	9	3	第29回企画展示に見る戦争体験	滋賀報知新聞
		19	青春時代を捧げた戦争体験 県平和祈念館で久野さんが語る	湖国とりびゆめ
		20	体験者から聞く戦争の恐怖 平和祈念館の子供向け講座	おうみ通信
	10	3	ボランティア活動について	滋賀報知新聞
	11	7	平和学習支援の取り組み	滋賀報知新聞
	12	3	「10年間ふるさとなみえ博物館」巡回展	滋賀報知新聞
		7	戦争中の時代感じて 掩体壕群見学会に県内外35人	中日新聞
7		子ども平和絵画コン 応募566点 坂口さんら入賞	毎日新聞	
15		適から機体守る戦争遺跡 「掩体壕」体験 平和思う	京都新聞	
令和4	1	8	子どもたちが描いた戦争 滋賀県平和祈念館企画展示	滋賀報知新聞
		12	「10年間ふるさとなみえ博物館」-福島県浪江町と滋賀県との交流	京都新聞
		15	戦中の子ら 描く暮らし 県平和祈念館で企画展	朝日新聞
		17	小中学生のピースメッセージ 県平和祈念館で566点展示	おうみ通信
		19	県平和祈念館 絵日記や漫画、手紙など展示 当時の子どもが描いた戦争	中日新聞
		26	全域避難のふるさと 学び披露 県平和祈念館 浪江町児童の巡回展	中日新聞
		28	コロナ禍を越え、新たな創生にむけて	滋賀報知新聞
		28	第30回企画展示「子どもたちが描いた戦争」	読賣新聞
		30	子どもが描いた“戦争” 国民学校や疎開先、絵日記に	京都新聞
	2	11	県平和祈念館が10周年事業	滋賀報知新聞
		13	第30回企画展示「子どもたちが描いた戦争」	滋賀報知新聞
	3	6	開館10周年記念ウィークについて	滋賀報知新聞
		18	講座や映画、企画満載 きょうから「10周年Week」	毎日新聞
18		開館10周年記念ウィークについて	滋賀報知新聞	

### 3 組織（令和4年3月現在）

#### （1）職員

館長	端	信行
所長	成宮	寛夫
専門員	北原	治
副主幹	梅山	光彦
副主幹	中西	まこ
主査	上田	智史
主任主事	木村	大喜
会計年度任用職員	坂井	秀男
会計年度任用職員	日高	昭子
会計年度任用職員	近藤	恵
会計年度任用職員	杉村	陽子

#### （2）職員構成

区分	館長	行政職	学芸員	教育職	会計年度任用職員	合計
人数	1	3	1	2	4	11

#### （3）滋賀県平和祈念館運営会議

座長	端	信行	（滋賀県平和祈念館 館長）
委員	中島	伸男	（東近江市戦争遺跡の会 世話役）
	中井	均	（滋賀県立大学 名誉教授）
大長	弥宗治		（一般財団法人滋賀県遺族会 会長）
野瀬	隆行		（東近江市立愛東コミュニティセンター 館長）
藤関	昭雄		（あいとうマーガレットステーション 専務理事）
山路	哲司		（東近江市企画部企画課 課長）
福島	栄寿		（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 会長）
西澤	美恵子		（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 副会長）

#### （4）滋賀県平和祈念館展示等監修委員

委員	原田	敬一	（佛教大学 名誉教授）
	原山	浩介	（日本大学法学部 准教授）



#### 4 決算（令和3年度）

##### ○歳入状況

（単位：円）

科 目	決算額
基金繰入金	19,740,679
国庫支出金	0
諸 収 入	1,064,936
合 計	20,805,615

##### ○歳出状況

（単位：円）

事 業 名	主 な 事 業 内 容	決算額
管 理 運 営 費	施設維持管理費、施設運営費、事務費、広報費	16,057,095
展 示 事 業	企画展示、特別企画展示、地域交流室展示	1,703,365
資 料 収 集 保 存 事 業	収蔵資料防虫防かび対策、研究図書購入、 収蔵資料等デジタルデータ管理・公開システム運用等	2,305,796
普 及 啓 発 事 業	映画上映会、平和の学校あかり等	530,793
平 和 学 習 支 援 事 業	平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール、へいわの 子事業等	208,566
合 計		20,805,615

## 5 新型コロナウイルス感染症関連

### (1) 新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、昨年度に引き続き臨時休館や各種イベントの中止などの影響があった。

※本県に新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が発令されたことに伴い、県の公の施設における新型コロナウイルス感染症対策の方針を受け、臨時休館とした。

期間：令和3年（2021年）8月27日（金）から9月30日（木）まで

### (2) 新型コロナウイルス感染症対策

当館では、新型コロナウイルス感染症対策として、滋賀県の指針に基づき、今年度も引き続き以下の対策を講じている。

- ① マスクの着用、手指の消毒および入館時の検温への協力依頼
- ② 換気の徹底
- ③ 密を避けるための取り組み

- ・定員制の導入

映画上映会などのイベントは定員制とした。

- ・来館者の分散

学校などの多人数の団体が来館される際には、全員が一部屋に集まらないよう、複数のグループに分けて説明や展示観覧を行うようにした。また、来館時間をずらすなどの工夫も行った。

## 6 施設概要

所在地 滋賀県東近江市下中野町 431 番地

### 建物概要

構造	鉄筋コンクリート	2階建
敷地面積	2,864.00㎡	
延床面積	3,115.45㎡	
	1階	1,759.03㎡
	2階	1,356.42㎡

開館年月日 平成24年(2012年)3月17日

### 平面図



## 7 利用案内

入館料	無料
開館時間	午前9時30分から午後5時
休館日	月曜日および火曜日（ただし祝日にあたる場合は開館） 年末年始（12月28日～1月4日） ※その他、業務の都合により休館する場合があります。
駐車場	約50台（無料）
アクセス	



- ・名神高速道路「八日市 I C」から車で約10分
- ・JR琵琶湖線（東海道線）彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

## 8 関係規程

滋賀県平和祈念館の設置および管理に関する条例

平成 23 年滋賀県条例第 48 号

### (設 置)

第 1 条 県民に戦争の悲惨さおよび平和の尊さを伝えることにより、平和を願う豊かな心を育み、もって平和な社会の発展に資するため、滋賀県平和祈念館（以下「平和祈念館」という。）を東近江市下中野町に設置する。

### (業 務)

第 2 条 平和祈念館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 県民の戦争に関する体験の記録その他の資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「資料」という。）を収集し、保管し、展示し、および利用に供すること。
- (2) 平和を願う豊かな心を育むために必要な普及啓発を行うこと。
- (3) その他平和祈念館の設置の目的を達成するために必要な業務

### (開館時間等)

第 3 条 平和祈念館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2 平和祈念館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日および火曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までの日

3 知事は、必要と認めるときは、第 1 項に規定する開館時間を変更し、または前項に規定する休館日を変更し、もしくは臨時に休館日を定めることができる。

### (特別観覧の許可)

第 4 条 平和祈念館が保管する資料の熟覧、模写、模造、撮影その他の利用（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、規則で定めるところにより、知事に申請し、その許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、前項の規定による申請があった場合において、次の各号のいずれかに該当



するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) 平和祈念館における秩序を乱し、または善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 資料または平和祈念館の管理上支障があると認められるとき。
- (3) その他特別観覧を許可することが適当でないとして認められるとき。

3 知事は、第1項の規定による許可をする場合においては、資料または平和祈念館の管理上必要な限度において、条件を付すことができる。

(特別観覧の許可の取消し等)

第5条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の規定による許可を取り消し、または特別観覧を制限し、もしくは特別観覧の停止を命ずることができる。

- (1) 前条第1項の許可を受けた者（以下「特別観覧者」という。）が詐欺その他不正の行為によって同項の許可を受けたとき。
- (2) 前条第2項各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 特別観覧者がこの条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (4) 特別観覧者が前条第3項の規定により付された条件に違反したとき。
- (5) 当該許可に係る資料が災害その他の事故により特別観覧に堪えなくなったとき。
- (6) その他知事が特に必要と認めたとき。

(委 任)

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、平成24年3月1日から施行する。ただし、第2条第1号（資料の展示および利用に係る部分に限る。）および第4条の規定は、同月17日から施行する。